

連絡先等	(住 所) 〒 753-8501 (担当部署等) 山口県農林水産部森林企画課事業体支援班 (電話番号等) TEL : 083-933-3460 FAX : 083-933-3479 (URL) http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17700/mizumamoru/mizumoru.html
------	---

取組の名称	利水企業による森林づくり活動について	
取組の概要	企業活動や県民生活に欠かすことのできない水を育む森林の「水源かん養機能」等の公益的機能について理解促進を図るとともに、森林の整備や適正な管理に向け、自主的な取組を促進していくことを目的に、利水企業等が参加する森林づくり活動を実施。	
取組のきっかけ	工業用水を利用する企業の社会貢献活動の実施に向けた機運の高まり等から、上流市町の森林・林業関係者と企業が連携した森林づくり活動について、平成 11 年度から取組を開始。	
取組内容・特徴	山口県企業局が行う工業用水道事業及び電気事業に係る企業(利水企業者)が負担した水道料金の一部を原資に、森林整備体験活動等を実施(別添資料参照)。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	県下 5 地区のダム上流域を対象に、県農林水産事務所(農林事務所)が利水企業者と連携して、間伐等の森林整備活動を計画。実施にあたっては、県が認定する指導林業士等を指導者として安全対策を講じるとともに、ヘルメットや軍手等の必要な資材を提供。	
実績	除間伐実績	平成 29 年度実績 : 約 3ha の間伐を実施。
	環境教育	平成 29 年度実績 : 49 社、424 名の利水企業者が参加(行政関係や川上側参加者を除く)。
取組による効果等	当該活動が浸透した結果、平成 11 年度の取組開始以来、参加企業数、参加者数のいずれも年々増加傾向。	
製品等の写真、図表	 <p style="text-align: center;"> 間伐の実施状況(厚東川水系) 除伐の実施状況(錦川水系) </p>	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 4

(会社名・団体名等) **NPO 法人 たけのこさいえんす**

連絡先等	(住 所) 〒657-0028 神戸市灘区森後町 1-5-11-601 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 090-2062-4827 FAX : email: takenokokagaku@gmail.com (URL) http://takenokokagaku.com
------	--

取組の名称	六甲山の間伐材を活用しよう！	
取組の概要	間伐材を活用するということは、山を元気にして災害から地域をまもることにつながります。 地域の子どもたちに間伐の重要性や必要性を楽しく学んでもらうことを目的に、間伐材を使ったものづくりと合わせて夏休みの自由研究に役立つように開催しました。	
取組のきっかけ	六甲山でとれた間伐材を活用する活動はまだ不足していると知りいろいろ調べたところ、間伐材を活用するということは、山を元気にして災害から地域をまもることにつながるということがわかりました。地域の子どもたちと間伐の重要性や必要性を学ぶことを目的に取り組みました。	
取組内容・特徴	地域の子どもたちを対象に夏休みの自由研究に役立つように、参加者を募集しました。間伐の大切さや必要性について楽しく学んでもらうために、間伐材を利用したものづくりと合わせて開催する工夫をしました。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	六甲山の間伐材は「Kobe もりの木プロジェクト」様からご提供していただきました。子どもたちに安全にもものづくりを楽しんでもらえるように主催者側で事前に木を切っておくなどの下準備をしておいた。ケガなく安全に楽しくものづくりを行うことができました。	
実績	除間伐実績	なし
	環境教育	毎月1回開催している実験教室の中で、ゴミの捨て方やリサイクルについて少しずつ環境勉強をしている。
取組による効果等	参加した子どもたちに、間伐の大切さ・必要性を伝えられたと考えます。 間伐について学び、90%以上の子どもたちに自分の考えや意見を書いてもらえました。 またホームセンターで購入したきれいな木ではなく、間伐材を使ってものづくりをして個性的な作品が出来上がりました。 参加者が子ども30名、保護者10名と多くの方に参加していただけたことから活動への興味関心がうかがえました。	
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>間伐材を使って木琴を作っています。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>左：行燈（柱と下の木が間伐材） 右：木琴（たたく部分の5本が間伐材）</p> </div> </div>	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 6

(会社名・団体名等) 特定非営利活動法人 つくしん



連絡先等 (公表可能な範囲で ご記入下さい)	(住 所) 〒501-4222 (担当部署等) 環境担当 (電話番号等) TEL : 090-7032-5595 (URL) http://tuku-c.jp
------------------------------	---

取組の名称	ゆめいた YUMEITAプロジェクト「人づくり、山づくり」	
取組の概要	次世代を担う子ども達に「木」を大切に、そして身近に使うことが強い山づくりに繋がること。森林生態系保全に繋がることを伝えたく、間伐体験や間伐材を活用した学習機の天板 (YUMEITA) を用いて環境教育を行っています。	
取組のきっかけ	郡上市は、森林面積が90%ととても資源の多い地域です。荒廃する山を見て森林保全が出来る仕組みが必要だと感じました。森林保全は子供の頃から行うことが持続的な活動に繋がると考え、間伐材を使うことを中心に森林環境教育プログラムを実施しています。	
取組内容・特徴	【知 る】自分達が住んでいる身近な「山の働き」と「山の仕事」を学習します。 【使 う】間伐材を使うことで森林保全に繋がると意識させます。 【続ける】間伐材を永続的に使い続けることが出来ます。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	【産】地元林業者である(有)大原林産が間伐体験を指導します 【官】郡上市農林水産部林務課が、山の現状や山の働き等を子ども達に伝えます 【学】小学校の児童達が自ら加工したYUMEITAを6年間使用します 【民】NPOでは、YUMEITA作りを指導します。	
実績	除間伐実績	一個あたり 0.0061 m ³ H28 N=70個 H29 N=90個、H30 N=60個 V=1.34 m ³
	環境教育	H28 : 2校にて実施 H29 : 5校にて実施 H30 : 2校実施、2校実施予定
取組による効果等	子ども達の感想文の中から、「木」を使うことの大切さが少しだけ伝わった事が伺えます。また、間伐体験では、身近にはあるが遠い存在の山を五感で感じている様子が伝わってきます。このような活動を長く続けることで、将来子ども達が大人になった時に大きな力になるのではと期待出来ます。	
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">間伐体験の様子</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">YUMEITA作りの様子</p> </div> </div> <p>掲載する写真や図表はこのスペースに収めて下さい。</p> <p>このほかに図表や写真がある場合は、添付別途願います。</p>	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 7

(会社名・団体名等) **カルスト森林組合**

連絡先等	(住 所) 〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分 418 番 1 (担当部署等) 事業課 (電話番号等) TEL : 0837-52-3332 FAX : 0837-52-2587
------	---

取組の名称	国定公園「秋吉台」区域の関係者の協働による森林再生モデル事業	
取組の概要	国定公園「秋吉台」区域において、自然環境の保全と森林資源の有効活用を両立し、森林再生を図るため、架線集材による搬出間伐に取り組んだ。	
取組のきっかけ	当区域は、林業の採算性の悪化、各種法規制により未整備森林が多く、森林施業するには路網中心の森林整備等既存の技術だけでは対応が難しく、架線集材の導入が必要であったため。	
取組内容・特徴	各種法規制のある当区域において、行政・地元関係者の意見を取り入れるための協議会を設置し森林施業を実施した。搬出間伐では、石灰岩などの自然環境への影響を考慮し、タワーヤーダやスイングヤーダなどの高性能林業機械等による架線集材に取り組んだ。 また、資源調査に当たっては、ドローン調査や地上レーザー計測などの新技術を取り入れた。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	山口県農林総合技術センター、山口県美祢農林事務所（普及・自然公園担当課）美祢市（農林・文化財・観光・ジオパーク担当課、科学博物館）、地元代表（2 地区）、森林組合の委員で構成された協議会を設置。協議会の下部組織として、目標林型や施業提案を考える「森林づくり部会」、架線系作業システムの実施を検討する「技術部会」を設け、事業を推進。	
実績	除間伐実績	保育間伐 5.18ha 搬出間伐 27.95ha 搬出材積 2,007 m ³ 使用機械 タワーヤーダ・ウッドライナー、スイングヤーダ、ハーベスタ、グラップル、フォワーダ
	環境教育	女性就業支援、萩商インターシップの林業教室受け入れ。 川下の環境コミュニティーとの交流。
取組による効果等	文化財保護法、自然公園法（第 1 種特別地域）の遵守、秋吉台特有の景観である石灰岩の毀損防止、史跡遺産である赤間関街道の保全を図りつつ、森林施業を行った。 また、架線集材技術を習得したことで、奥地・急傾斜地等の条件不利森林における森林整備の推進が期待できる。	
製品等の写真、図表	 <p style="text-align: center;">専門家を交えた史跡調査</p>  <p style="text-align: center;">架線集材による搬出間伐の状況</p>	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 8

(会社名・団体名等) **空知地区指導林家連絡協議会**

連絡先等	(住 所) 〒068-0042 北海道岩見沢市北2条西12丁目1-7 (担当部署等) 空知総合振興局森林室普及課 (電話番号等) TEL : 0126-22-1196 FAX : 0126-22-1186 (URL)
------	---

取組の名称	北海道指導林家によるミニ間伐講習会の開催	
取組の概要	・北海道空知総合振興局管内の指導林家 32 名で構成される空知地区指導林家連絡協議会では、平成 18 年から森林所有者が地域の森林に気軽に集まり指導林家や森林室の林業普及指導員から間伐などの森林整備の手法を学ぶミニ間伐講習会を開催している。	
取組のきっかけ	・北海道知事から認定された指導林家が、林業普及指導員と連携して地域の森林所有者へ間伐の必要性を理解させ無間伐林分の解消を図ることに加え、自身の林業技術や知識の研鑽にも繋がることから取組を開始した。	
取組内容・特徴	・森林所有者に身近な指導林家が講師となり少人数で開催することで、森林整備に関する疑問等を気軽に意見交換することができる。また、指導林家の知識や技術を直接学ぶことにより、参加した森林所有者の山づくりへの意欲喚起を図ることができている。講習場所は参加者の所有林のほか、指導林家所有林に設定した列状間伐展示林等を活用し、列状間伐の普及にも取り組んでいる。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	・講習の際は、事前に指導林家と森林室で現地の安全を確認した上で開催し、長袖・長ズボン、ヘルメット等の着用を義務づけるほか、森林室でダニやスズメバチ対策の医薬品を携行している。また、森林所有者の間伐事業が円滑に進むよう地元市町村と森林組合にも参加を呼びかけている。	
実績	除間伐実績	・講習会参加後に間伐を実施した森林所有者は延べ 40 人、間伐実施面積は 260.04ha に達する (H29 年末まで)。
	環境教育	・平成 18 年から 30 年までに管内 10 市町で 26 回開催し、延べ 224 名が参加している。
取組による効果等	・森林所有者の森林整備の意欲が高まり、講習会後に森林組合への委託や自伐により間伐を実施した面積は 260ha となった。また、指導林家の地域貢献活動の実践に留まらず、参加者の中から新たな指導林家が 5 名誕生するなど協議会活動の活性化にも繋がっている。	
製品等の写真、図表	 <p>指導林家による所有林施業経過の説明 (H30)</p>	 <p>森林所有者婦人も参加した講習会 (H21)</p>

連絡先等 (公表可能な範囲で ご記入下さい)	(住所) 〒315-0054 茨城県かすみがうら市稲吉5-26-8 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 029-831-7291 FAX : 029-831-7291 (URL) http://tsukuba-jyurakukai.jp
------------------------------	--

取組の名称	・間伐・除伐を行い健康で元気な森林づくり
取組の概要	・ヒノキ林の間伐、除伐を行い日差しが射しこむ健康な森林を目指している。 ・間伐の役割と森林のはたらきを地域交流会（子供会等）において啓蒙する。
取組のきっかけ	・会員の中に、ヒノキと杉山（小高い丘）を所有し、30数年手入れが行き届かない状態が続いていた。当つくば樹楽会が活動のフィールドとして所有者と契約を締結現在に至っています。 ・地域交流会を行い、森林整備に関心を持ち、森林の大切さを共有する。
取組内容・特徴	・ヒノキの間伐、除伐及び斜面等の下草刈りの実施しています。 ・間伐材の利活用と階段や手摺りに使用しています。 ・地域交流会を行い、間伐したヒノキの利活用として、箸づくり、コースター作りを参加者全員で体験を行っています。 ・森林の役割りやはたらきをパネルで講演、森林の大切を啓蒙しています。 ・田んぼの暗渠として利用します。
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	・活動に参加する会員は、傷害保険及びボランティア保険に加入して活動行っている ・活動行う時は、ヘルメット、長そで、長ズボン及び軍手等を着用し怪我、事故の防止に努める。 ・朝のミーティング時、当日の活動内容を説明、使用する機材の確認を励行する。
実績	除間伐実績 ・今年度16～18回の活動予定でヒノキ間伐・除伐そして下草刈り10回 ・間伐、除伐本数300本（4年間）延べ面積約1ha 継続中 ・チェーンソー、刈払機、ノコギリ、ナタ等使用
	環境教育 ・地域交流会での環境教育は年1回実施。対象者は地域住民・子供会及び会員家族。
取組による効果等	・森林を整備する事により、元気で健康な森林になる事、間伐材の利活用に興味を持ち始めた事等。・森林整備は地球温暖化防止に貢献している事等を理解。・整備した場所は、散策コースとなっている。・ホームページを楽しみに見ているとの声。 ・間伐したヒノキを田んぼに暗渠として利用し始めた。

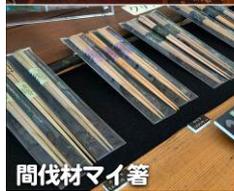
製品等の写真、図表 掲載する写真や図表はこのスペースに収めて下さい。 このほかに図表や写真がある場合は、添付別途願います。		
	写真1 間伐したヒノキをプールしています。	写真2 皮を剥いたヒノキ、階段の支柱や手摺りに利活用。

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 13

(会社名・団体名等) **あてま 森と水辺の教室 ポポラ**

連絡先等	(住 所) 〒949-8556 (担当部署等) あてま 森と水辺の教室ポポラ (電話番号等) TEL : 025-758-3863 FAX : 025-758-4158 (URL) https://popora.jp/ https://readyfor.jp/projects/popora
------	--

取組の名称	異分野コラボ de 里山再生 ～木育推進プロジェクト～	
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■放棄されたスギ林を間伐し、生物多様性に配慮した森林環境を創出（ニホンリス、ムササビ、フクロウなど）。環境教育プログラムとして実施 ■地元教育機関、首都圏教育旅行、企業研修を対象とした間伐体験プログラムを実施 ■地域林業関係者連携による間伐材を活用した木工クラフト商品販売及び体験プログラム実施 ■間伐材を活用したニホンリスの橋をみんなで創ろうプロジェクト ■森林関係に携わる企業・団体等による木育の普及啓発を目的とした森フェスイベントを開催 ■間伐材を活用したキノコ栽培 	
取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ■荒廃した森林環境を所有し、生物多様性の向上のための調査・研究及び自然体験プログラムを実施している ■地域の林業関係者とのコラボによる木育プロジェクト 	
取組内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ◆一般の方、教育機関、企業など、それぞれの目的に応じたプログラムを開発し、365日間、生物多様性に配慮した木育アクティビティを実践している ◆異分野とのコラボにより新しい価値を創造し、地域材、国産材の積極的な活用に努めている 	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	当団体は、自然環境保全に係る「調査・研究」、「環境教育」、「人材育成」、「自然体験プログラム・イベントの企画・運営」を専門としており、林業施術等の専門指導を地域の林業関係者とコラボし、安全性を確保した体制で運営している。また、地域の課題でもある荒廃した森林環境の改善のための活動を協働して、地域のモデル地点となるよう情報発信している。	
実績	除間伐実績	・除間伐実績；約1000t（H30.8月末現在）
	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ■一般；間伐材を使用した木工クラフト体験（365日） ■教育機関；間伐・枝打ち体験や社会科の授業で野外の森林環境教育（40団体程度/年） ■企業研修；間伐体験や間伐材を活用したリス保全を絡めたチームビルディング（5団体/年） ■その他；イベント・木育を普及する森フェスやリスの保全イベント（3回/年）
取組による効果等	・教員による口コミ等で地域の教育機関が授業として活用、企業のCSR活動として活用、また、地域の森林管理署の団体などが視察で来訪するなど普及啓発の浸透と異分野とのネットワークが築かれ、活動に共感する団体が増え、地域の活性化にも寄与している。	
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>間伐体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>チェーンソー体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木工クラフトギャラリー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>間伐材勾玉</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>教育機関～社会科授業～</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>企業教育～チームビルディング～</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>間伐材マイ箸</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クラフト体験</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 間伐体験・環境教育 木工クラフト体験 </p>	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 14

(会社名・団体名等) **特定非営利活動法人 四季の会**

絡先等	(住 所) 〒899-5411 鹿児島県始良市鍋倉 669 番地 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 0995-73-3446 FAX : 0995-73-3447 (URL) http://www.shikinokai.com/
-----	---

取組の名称	間伐材利用による「環境づくり・森づくり・人づくり」					
取組の概要	当会は、「環境づくり・森づくり・人づくり」を理念に、森林整備による環境づくりを、植樹、育樹体験や間伐材にふれあう活動体験等、森林環境教育による森づくり・人づくりを実施している。特に、森林環境教育活動においては、間伐材を様々な活用材料にして、広く県民に森林の大切さを啓発し、次世代へ豊かな自然を引継ぐための活動をおこなってきた。					
取組のきっかけ	森林環境教育活動において、森林や間伐材を使ったものにふれる直接体験を通して、人々の生活や環境と森林の関係について学び、森林の持つ多面的機能や、森林整備と木材利用の必要性、重要性に対する理解と関心を深めてもらうために、森林環境教育の充実を計ることとした。					
取組内容・特徴	ベンチ・樹名板作成や、小鳥の巣箱・プランター・本立て・鍋敷きづくり等の木工教室に間伐材を利用し、環境教育の材料としている。 また、森林ピック(モリリンピック)と称したレクリエーション活動では、間伐材の丸太切重量当て競争・間伐材の積み木競争・間伐材を割切りにしたボールで倒す間伐材ボーリング等、森の運動会を開催し間伐材とふれあう。さらに、間伐材採現場を県民に見学させ、現代の林業のあり方を周知するためのチェーンソーによる伐倒作業、高性能林業機械による枝払い・玉切り・集材・集積等林業の実情にふれあい、木材市場の見学体験等も実施。 このような直接的な体験を通して、循環型資源を育む地域の自然環境である森林について知ること、これからの社会の形成者として持続的な社会の文化を担う人材育成(人づくり)につながる。					
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	現在7名の森林整備班員と2名の育成指導者(森林組合OB)で森林整備事業に関わっている。森林整備班員の中から緑の雇用制度によるフォレストリーダーの研修を終了し、育成指導者として4名が育っている。また、緑の雇用制度で育成してきた班員(人づくり)も今では数多くの資格を取得しており、高性能林業機械から小型林業機械を駆使しながら、小規模な作業から大規模作業まで実施している。 安全対策としては、毎月理事長を筆頭に指導者が安全パトロールを行うとともに、月初めには班員全員を集めた安全対策会議も行っている。また林業木材製造業労働災害防止協会鹿児島県支部にも属し、年数回の講師の現場指導や安全対策講義を受けている。 労働保険のほか、民間の保険(2か所)にも加入し、三重の保険に対策をとっている。 また、環境教育活動では、会員約20~40名のスタッフを動員し安全体制を配し、間伐材採現場の見学体験ではヘルメットの着用や安全な場所の確保、そのほか各活動時におけるボランティア保険加入等の安全対策を計っている。					
実績	除間伐実績	(年度)	(面積・ha)	(搬出材積・m ³)	(路網整備・m)	(金額・千円)
		平成23年度	20.00	672	0	4,540
		平成24年度	51.34	3,122	0	25,360
		平成25年度	74.57	2,975	700	34,223
		平成26年度	77.16	5,424	3,720	45,759
		平成27年度	88.55	5,482	6,620	62,446
		平成28年度	92.85	6,061	9,030	77,888
平成29年度	86.70	6,490	21,965	107,084		

間伐実践・環境教育部門

	環境教育	<p>林業労働体験事業（下刈り・つる切・除間伐体験）、間伐材および竹材を使った木・竹エクストラフト教室、森林ピック（モリリンピック）と称する間伐材を使った競技（丸太切り&重量当て、間伐材の積み木、間伐材のボーリングなど）、森林・林業体験バスツアーの実施（間伐現場での伐採・集積見学体験、木材市場・CLT工場・おが屑工場・2×4工場等の見学学習）。……年20回ほど実施</p>
取組による効果等	<p>適正な間伐により、地域の森林づくりおよびCO₂削減による地球温暖化防止という環境づくりにも少なからず貢献できていると考える。</p> <p>間伐に取り組むことで、森林の大切さ、木材を有効利用することの大切さを改めて実感する。</p> <p>森林は、豊かな水の供給や、土砂災害の防止、CO₂を吸収しO₂を供給するなど自然環境に大きな役割を果たしている。間伐材を利用した木工教室や森の運動会、間伐伐採現場での体験学習により、間伐の重要性や必要性をわかりやすく楽しく、より多くの世代につたえることができる。</p> <p>この取組が、環境づくり・森づくり・人づくりの活動理念をさらに強固なものとし、次世代への豊かな環境の引継ぎにつながるものと確信しており、今後も続けていきたい。</p>	
製品等の写真、図表		

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 16

(会社名・団体名等) **南都留森林組合**

連絡先等	(住 所) 〒402-0025 山梨県都留市法能 404-13 (担当部署等) ソフト事業部 (電話番号等) TEL : 0554-43-7455 FAX : 0554-43-6982 (URL)
------	---

取組の名称	都留市東桂地区学童保育の学校林体験活動	
取組の概要	山梨県都留市東桂地区の学童保育(桂っ子クラブ・元気っこクラブ)において、学校林を軸とした森林・林業体験を年間通して実施。学校林活動を通して、森の資源循環のサイクルや環境保全機能、森林資源の利活用について体験的に学ぶ。活動は毎月1回、5月～3月まで行い、季節ごとの森との関り方についても学んでいる。	
取組のきっかけ	学童保育側から、学童を利用している子供たちに、森林体験を通して森の大切さを学ばせたいという依頼があり、昨年度より実施。地域の森林所有者から協力を得て、山梨県内では初めてとなる、学童保育が管理をする学校林を設定し、毎月の活動を行っている。	
取組内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生～6年生までが協力しながら行うグループワーク ・学校林(スギ・ヒノキ林)における、選木・間伐プログラムの実施 ・間伐した材を林内から運び出し、簡易製材後に木工体験の材料として活用。 ・原木しいたけの植菌・栽培体験 ・6年生は間伐材を利用した卒業制作 	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	「地域の大人たちとの関り」をテーマに、学童保育の運営母体である東桂地区学童保育運営委員会、地域の協力者である学童ボランティア、森林組合が連携しながら活動を実施している。また、地域の林業事業者とも連携し、森林・林業体験の際にはインストラクターとして協力を要請している。	
実績	除間伐実績	学校林0.27haをおおよそ5年かけて間伐する計画。年2回の間伐体験を実施。
	環境教育	毎月一回の林業体験・自然体験活動・木工体験を実施。
取組による効果等	毎月の活動は基本的に自由参加であり、1回の体験で約40人～90人が参加している。継続的な間伐プログラムの実施によって、森林の整備が進んでいる。また、活動を開始した時期と比べ、参加児童の森に対する興味や森林資源の活用について意識の向上が感じ取れる。	
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>学校林内での間伐体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学童敷地内での木工製作</p> </div> </div>	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 17

(会社名・団体名等) **NPO法人SCR**

連絡先等	(住 所) 〒981-3341 宮城県富谷市成田7丁目23-21 (担当部署等) 代表 村上 幸枝 (電話番号等) TEL : 022-351-5405 (FAX 兼用) (URL) http://scrscr2012.wixsite.com/scr2012 (Facebook も有り)	
取組の名称	「山の日記念『山のがっこう』と 「間伐材でつくろう！10000個積み木リレー」	
取組の概要	1) 山の日記念『山のがっこう』 平成28年に施行された「山の日」をきっかけに、地域の森林や林業を学ぶ会を地域の小学生とその親などを対象に毎年8月11日に開催している。 2) 間伐材でつくろう！10000個積み木リレー (H29年度) 宮城県産のスギ間伐材を小さなブロック状に加工したものをイベントに参加した保育園児等が紙やすりでみがいて、無塗装で手磨きの積み木を作って遊ぶ木育イベントを平成29年に開催した。	
取組のきっかけ	NPO 法人 SCR は代表の村上幸枝さんを中心に地域の女性を構成員とした団体で、女性ならではの視点と企画力や行動力で地域の人々との交流や催しを通じて心と体の健康を育む活動を行っており、特に近年は、宮城県産の間伐材を使用した『木工教室』や自然にふれあい自然を育てる森林活動、自然の中でのイベント等を通して『木育』活動を盛んに行なっている。 その活動のなかで、地元の保育園から積み木を作って欲しいとの要望があり、せっかくなら多くの方にも協力、共感してもらおうと「積み木10,000個リレー」がスタートした。 また、「山のがっこう」では、年に一度、地域の方々と共に山に感謝する機会を作りたいとの発想から、SCR が森林活動の拠点にしている富谷市の「大亀山森林公園」において、森林・林業の勉強や園内にあるスギ林での間伐作業の実施などに取り組むこととなった。	
取組内容・特徴	・「山のがっこう」では、身近な森林の持つ公益的機能や林業について学習を行った後に、園内のスギ人工林でSCRの女性メンバーが行う間伐作業や伐採した木を馬で搬出する作業を見学した。間伐が終わった林地において、参加した小学生が枝葉をかたづける作業を行った。また、ツリークライミングも行い、森で遊ぶ楽しさを体感した。 ・「積み木10,000個リレー」では、保育園児には難しいと思われた紙やすりでの手磨作業も少しの指導で園児達は楽しく作業をすすめられ、愛着を持って積み木と遊ぶことができた。H30年度は、この積み木を多くの子供たちに触れていただき、木の良さを知ってもらおう木育活動として「積み木会員」を募り、積み木を貸し出している。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	「山のがっこう」内での間伐作業は安全教育を受けたSCRのメンバーが実践している。 間伐作業と馬搬の作業は安全な場所での見学を実施している。 また、伐採作業の指導と木工教室用の間伐材の提供は地元の黒川森林組合が行っている。また、林業や間伐の説明は、宮城県の林業改良普及員からも協力を得ている。	
実績	除間伐実績	「山のがっこう」において、毎回スギの立木を10本程度、SCRの女性メンバーが伐採している。
	環境教育	・平成28年から開始した「山の学校」では、毎回地域の小学生とその親など40名程度の出席があり、今年までに150名程度の親子に森林・林業の大切さを伝えた。 ・「積み木10,000個リレー」では仙台市や富谷市近郊の保育園、幼稚園、児童館など25施設に積み木を提供し、各施設では毎回40～300名程度の規模で実施したので、総勢2,000名以上の園児や小学生などに木育活動を行った。
取組による効果等	地域の女性陣で結成したSCRは、地域の住民にも親しみやすく、活動内容も多く含まれているため、毎回多くの参加者があると共にリピーターも増え、継続的な環境教育や「木育」活動等が進んでいる。 また、活動を通じ、地元の森林に理解を深め、それぞれの立場で森林・林業やSCRの活動を応援していくネットワークも拡大し、地域住民と地元の森林・林業との距離を縮めている。	

間伐実践・環境教育部門

製品等の写真、図表



2018 山のがっこう



間伐材でつくろう！10000 個つみ木リレー

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 18

(会社名・団体名等) **橋本ひだまり倶楽部**

連絡先等	(住 所) 〒648-0094 和歌山県橋本市三石台 1-5-2-2-1204 (担当部署等) 橋本ひだまり倶楽部 事務局 (電話番号等) TEL : 090-8651-0704 (URL) http://hashimotohidamari.jimdo.com
------	--

取組の名称	こどもの力で蘇る森づくり	
取組の概要	市内外の幼児から小学6年生までを対象に、「郷土の森」で自然体験活動を行っている。	
取組のきっかけ	2001年・森林ボランティア団体として発足。併せて小学生対象に自然体験活動を継続。体験できる年齢を下げられないか?と相談があり、森林体験の出来る年齢層の巾を広げ具体化していった。間伐などを行う森林体験は、学校や家庭では教えられない体験と、こどもの心に寄り添う時間として広がり、団体で行う自然体験活動の他、小学校、こども園、子育てサークル等と協働で行う森林体験活動を受託し6年目になる。	
取組内容・特徴	1. 自主事業：環境教育の一環として森林体験活動を実施。年間プログラムを基に活動。道具の使い方、伐採体験、階段造り、ホダギづくり、木工、工作、植樹、草木染め等の体験を行う。また、児童が間伐したヒノキを利用して小屋の柱や、階段づくりに利用。炭や灰の再利用をすることで、森の循環を学ぶ。こども達は四季を通じて多様な体験をしていく。不便が多い分、ゆっくり流れる森の時間を楽しんでいる。 森のようちえん：3才～5才 トムソーヤ：1～2年生 自然体験クラブ：3年～6年生 合計57名在籍 2. 協働事業：自主事業のプログラムを基本に、季節別・年齢別にプログラムを提案。 伐採体験、木工、工作、竹切り、ホダギづくり、森の散策などの自然体験を行っている。 1・2とも天候には左右されず、終日、野外での活動を行っている。大人が一方向的に教えるのではなく、完璧を求めず、見守りながら、こどもの持つ力を引き出してあげることが大切になっている。	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	間伐は、団体スタッフの協力を得て、こどもの年齢や人数に応じた樹木を伐採。枝払い・皮むき・玉切りを行う。ヘルメット・軍手・長袖・長ズボン・帽子・水筒・合羽・着替え・黒色を避けた服装が基本。 自主事業は、保護者に、服装、持ち物、リスク、保険加入内容など、事前説明会を実施している。「森に潜む危険な生き物」講習会を開催。協働事業は、持ち物・タイムテーブルについて打ち合せ、下見を行う。 スタッフは、携帯・水・ポイズンリムーバー・救急用品をリュックに用意し万一来に備える。	
実績	除間伐実績	こどもの年齢別に、年通算3～4回の間伐体験と、通算4～5回竹林整備を行う。
	環境教育	森の階段造り、土壌生物、下駄作り等、児童の心を捉える専門分野の有識者を招き、基本技術や知識を習得している。また昔からの教えを大切にし、高齢者スタッフが活躍している。「森林療法」「森で育つ子ども達」講演会、安全講習会等、専門講師を招き開催。小学校へ出向き、森林について事前・事後学習を行っている。 団体自主事業自然体験児童数：年間1,177名 協働事業自然体験児童数：955名 (平成29年度実績)
取組による効果等	森林活動への認知度が広がった。森＝林業の概念から、安全で自然を活かした森づくりを大人が意識するようになった。団体所属のこどもの人数は、7年間で19名→57名。協働事業は、3団体→11団体に増加した(平成30年実績)小学校教師参加による自然体験研修を行った。森林の循環を知ることで、こども自らが学び、環境と生活が繋がる。学んだ技術や知識を吸収し、間伐材の利用や、森林整備等に活かし、また応用しながら活動している。大人が面倒と思う作業や、天候の悪さを逆手に取り楽しんでいる。こどもが森に入ること自然は蘇り、目を輝かせるこどもの心も潤う。図鑑や机上では学べない触感や匂いなど、本物の自然を目の当たりにした、森を楽しむこどもの力は大きく貴重である。	
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>伐採体験 (自然体験クラブ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木工製作 (小学校協働事業)</p> </div> </div>	